

名古屋市教育委員会
教育長 坪田知広様

名古屋市教職員労働組合

緊急要請

貴職におかれましては日々職務精勤ご苦労様です。

2月11日(日曜日)中日新聞の1面の見出しは「名古屋市教委に教員団体金品」とあり続いてリード文では、名古屋市教育委員会事務局が市内全16区の校長会など80以上の教員の団体から毎年、1団体ごとに3万円前後の現金などを受け取っていたことが関係者への取材で分かった。各団体は次年度の市立小中学校の校長に推薦する教員の名簿とともに金品を納めていた。事務局幹部は取材に「激励と受け止めている。(後略)」と話したが、事態を把握した市は「団体側から市教委への上納金」と判断、不適切な金品の授受にあたるとして調査する方針だ。とありました。

続く本文で、受け取った金品の用途について、校長経験者の市教委事務局幹部は取材に「夏の教員採用、年度末の定期異動の作業繁忙期に職員が深夜勤務する際の飲食費や、会合で市議、教職員課OBらを招いたり、現場の教員から意見を聞いたりする会合の車代に使っている」と説明し(中略)「(金品が)校長人事に反映されることはない」と話した。とありますが、金品が各団体が校長に推薦する教員の名簿と共に納められていることから、それは校長人事に反映されている、と考えられます。

今回の件は昇任人事の公正さを全く欠く著しく不適切なもので、報道にある市幹部のコメント「あしき慣習」の域をはるかに超えた決して許されないものです。すでに市民の広く知るところとなり、名古屋市の教育行政の信頼を根本から破壊しています。

名教労は毎年秋に校長の昇任人事に関しては、市民に疑念を持たれることのない、市民の期待を裏切ることのない昇任人事が求められている旨を市教委に要望しておりますが、今回の件はまさに「疑念を大きく持たせた」ものです。

名教労は、愛教労と連携し、以下を緊急に求めます。

記

- 1 団体から金品を受け取ったとされる市教委事務局教職員課は、金品を受け取っていた期間、受け取った金品の用途・金額・日時等すべての詳細、金品の授受に関わった送り手側・受け手側の人物、金品の受け渡しによって校長人事で特別に配慮された者の氏名等、今回の件の全貌について、自らが早急に広く市民に公表すること。
- 2 市教委はこの件に関して早急に名教労との交渉をもつこと。
- 3 市教委は市内公立学校教職員に対して、今回の件に関する経緯と経過報告を速やかに通知すること。

以上

